あおぞら級だより　第９号

ぎんが

立山町立釜ヶ渕小学校
Ｒ２．１２．３

12月、初雪のたよりも、そろそろ

１１月は持久走記録会に向けての練習から始まりました。今年は、その横で釜ヶ渕保育所の取り壊しが行われていました。建物は日に日に小さくなり、滑り台が１台だけが残されました。２人も通った思い出の保育所です。口では「思い出はない」と言っていますが、敬老会や住民運動会でお遊戯を発表したこと、当時の５年生が交流をしていろいろな遊びを教えてもらったことなどたくさんの出来事があったと思います。季節は初雪を迎える頃となりました。初雪が淡くすぐ消えてしまうように、大切な保育所の思い出までも消えてしまうことのないようにと隅に残る１台の滑り台を見ながら感じました。

ニュースでは、新型コロナウイルス感染症の広がりを報道しています。今まで以上に健康に気をつけて、２学期のまとめをする１２月としたいと思います。今月もよろしくお願いします。

○　オンラインによる交流会　○

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、立山区域特別支援学級合同学習会はすべて中止となりました。その代わりとなる活動として、オンラインでの特別支援級交流会を実施することになりました。今回は釜ヶ渕小学校が中心となって進めました。Ａさんは始めの言葉、Ｔさんは終わりの言葉、進行は二人が協力して行うことで準備を進めてきました。

本番、自己紹介で、Ａさんはがんばっているリコーダーのこと、Ｔさんは好きな生き物の蛇のことを話しました。また、学校の紹介として、大改造工事のことを菊さんを含めた３人で発表しました。ジェスチャークイズも準備を進めていたのですが、予定の時間が過ぎてしまい、クイズは延期となりましたが、自信をもって表現したことが他校の友達にも伝わり、有意義な時間を過ごすことができたと思います。

・Ｋ君にやさしく教えてあげました。教えてあげたのは、学校紹介です。自己紹介もがんばったと思います。最後は時間がたりなくてできませんでしたが、とても楽しかったです。　（Ａ）

・最初は順調だったけれど、と中で自分たちもふざけてしまいました。最後時間がきて終わってしまいました。とても残念でした。でも、先生がまたやると言ってくれたので、安心しました。

（Ｔ）

○　総合的な学習の時間　「福祉について」　○

「総合的な学習の時間」では、福祉の視点で釜ヶ渕地区は安心できるだろうかと考えることをテーマに取り組んでいます。

１８日、認知症サポータ養成講座は、立山町社会福祉課からきていただいて行いました。そこでは、認知症の方への接し方を学びました。Ａさんは、これからもおばあちゃんに優しく接していきたないと学習を通して考えました。

さらに、タオルで目隠しをして、目が不自由な人の体験、体が自由な人を考える車椅子の乗車体験、視野が狭くなったり体が動きにくくなったりする高齢者の疑似体験もしました。Ｔさんは、友達に助けてもらってやっと歩けたので、おばあちゃんも同じくらいつらいのでは考えをふくらませていました。

このことから、今度は釜ヶ渕地区は住民が安心できるのだろうかということを考えます。

○　11月のスナップ　○

１２日、持久走記録会がありました。高学年は１０００mのグラウンド５周を走りました。練習を通して少しずつ速く走ることができるようになりました。

１２日、畑でタマネギの苗植えをしました。冬を越す長い期間の栽培ですが、収穫が楽しみです。来年こそは、収穫したものを使って調理できればいいなと２人とも思っています。

２０日、家庭科の調理実習をしました。今回は、ご飯が炊き上がる様子の観察、味噌汁の具（大根、ねぎ）の切り方の練習となり、実際の調理は各家庭で行いました。写真などを見ると、上手に調理をしていたと感じました。

＜　担任の「あおぞら日記」　＞

１１日わくわくタイムに、釜ヶ淵ぴーこーずの演奏会がありました。昨年に続いて今年もぴーこーずの皆さんと５・６年生一緒に合奏しました。５年生は「威風堂々」、６年生は「ジュピター」でした。音楽の時間に何度も練習を行い、止まらずに最後まで演奏することができるようになりました。しっかり指で穴をふさぎ、タンギングもでき、速さもしっかりとらえることができるようになったと感じました。

リコーダーに自信をもったのでしょうか。その後、２人が取り組んだのが、「キリマンジャロ」の曲です。朝の会でもその曲を演奏しました。でも、もっと熱中したのが、６年生が演奏した「ジュピター」です。最初、Ａさんが休み時間に練習をしました。しばらくしてからＴさんも、「お母さんに教えてもらった」と言ってドレミのメモを見ながらふきました。

今は、朝の会で「キリマンジャロ」と「ジュピター」をふいています。来年も釜ヶ淵ぴーこーずの演奏会が行われ、６年生になっている２人も参加した合奏が行われることを願っています。